

## 第 1 次長岡市自殺対策計画の評価と第 2 次自殺対策計画の策定について

## 1 策定の趣旨

- 長岡市自殺対策計画は、平成 28 年に改正された自殺対策基本法に基づき、すべての市町村が策定する「市町村自殺対策計画」であり、自殺対策の本質が生きることの支援にあたることを念頭に、「誰も自殺に追い込まれることのない長岡市」の実現を官民一体となって目指すための指針となるものとして、平成 31 年 3 月に策定された。
- 第 2 次長岡市自殺対策計画は、令和 6 年度から 10 年度までの 5 か年計画として自殺対策を総合的かつ効果的に推進するために策定する。令和 4 年 10 月に閣議決定された新たな「自殺総合対策大綱～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざして～」および本市の実情を踏まえて見直しを行う。

## 新たな「自殺総合対策大綱」のポイント

- 1 子ども・若者の自殺対策の更なる推進・強化
- 2 女性に対する支援の強化
- 3 地域自殺対策の取組強化
- 4 総合的な自殺対策の更なる推進・強化

## 2 第 1 次長岡市自殺対策計画の骨子

- 基本理念：「誰も自殺に追い込まれることのない長岡へ」
- 基本施策：(1) 地域におけるネットワークの強化 (2) 自殺対策を支える人材の育成  
(3) 住民への啓発と周知 (4) 生きることの促進要因への支援  
(5) SOS の出し方、受け止め方への支援
- 重点施策：(1) 高齢者を対象とした取組の推進 (2) 職域層を対象とした取組の推進  
(3) 若者を対象とした取組みの推進

## 3 現状と課題

## 【現 状】

- 長岡市の年間の自殺者数は、計画策定時以降、人口動態統計では 50～60 人台で推移。全国的にも新型コロナウイルス感染症拡大の影響で自殺者が増加する中、長岡市でも高止まりが続いている。計画の目標値である令和 5 年の自殺者数 45 人の達成は現状では難しい状況である。
- 自殺対策計画における評価指標は裏面のとおりの。

## 【課 題】

- 自殺死亡率は、国・県を上回る状況が続いている。
- 男性は 40～59 歳有職同居および 60 歳以上無職同居の自殺が数、率ともに高い。女性は 60 歳以上（特に 80 歳以上）無職同居の自殺が数、率ともに高い。
- 例年、自殺者数は、男性が女性の約 2 倍程度で推移していたが、令和 3 年は女性が男性を上回った。特に 60 歳以上の女性の増加が顕著である。
- 若年者の自殺者数は他世代に比べれば少ないものの、毎年一定数おり、死因全体における自殺の占める割合は高い。

## 4 第 2 次計画の推進方針

- 基本理念：「誰も自殺に追い込まれることのない長岡へ」  
新たな「自殺総合対策大綱」の基本理念「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す」を踏襲
- 基本施策および重点施策について  
国：地域自殺対策計画策定・見直しの手引きの改定（令和 5 年度当初を目標）  
いのち支える自殺対策推進センター（厚生労働大臣指定法人）：地域実態プロファイルの提供（12 月頃）、地域自殺対策政策パッケージの改定（令和 5 年度当初を目標）  
→これらを参考に、長岡市の現状を踏まえて、第 2 次長岡市自殺対策計画策定会議にて検討

令和 4 年度

推進会議（2 月）

令和 5 年度

推進会議・策定会議①（7 月）

策定会議②（10 月）

策定会議③（1 月）

庁内ワーキング（2 回）

パブコメ（12 月）

最終案確定（2 月）

いのち支える自殺対策連携会議（2 月）

令和 6 年度

第 2 次計画  
開始